

■長ネギ 小まめな土寄せで軟白を長く作る

園芸研究家●成松次郎

ネギの原産地は中国西部といわれ、中国では2000年以上の歴史があり、日本でも最も古い野菜の一つです。特有の臭気はアリシンで、食欲を増進させる働きがあります。長ネギ(根深ネギ)は土寄せして根元に近い部分を30cm以上に軟白します。

【品種】

「金長」(みかど協和)、「元蔵」(武蔵野種苗園)など、新しい品種では「夏扇4号」(サカタのタネ)、「龍翔」(横浜植木)などが定評があります。

【栽培時期】

春彼岸ころに種をまき、夏に植え付け、晩秋から冬に収穫する春まき栽培が一般的です。

【苗作り】

苗床となる場所に前もって、1平方m当たり苦土石灰100gを散布して耕しておきます。次に、畝間70~80cmとして、くわ幅の浅い溝を作り、ここに溝1m当たり化成肥料(N:P:K=10:10:10%)100gと堆肥1kgを施し、溝の土とよく混ぜておきます(図1)。

種は溝の全面に1~2cm間隔になるようにばらまきし、覆土は1cm程度にします。芽が出そろったら込み合う部分を間引き、1カ月ごとに溝1m当たり化成肥料20~30gを追肥します。30~40cmくらいに育ったら、苗の完成です。

【植え付け】

春まきでは6~7月が植え付け期です。耕した直後では植え溝が崩れるので、平らにならした

図1 苗作り

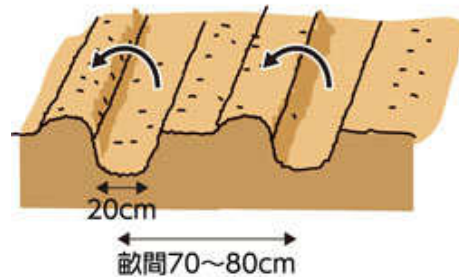


図2 植え付け

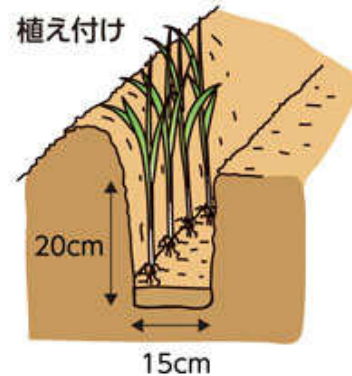


図3 追肥・土寄せ



図4 収穫期



後、しばらくして溝を掘ります。畝間は 90～100cm、溝は幅 15cm、深さ 20cm に掘り下げます。苗は 5cm 間隔に溝に並べて立て、根元に少し土を掛け、その上にわらや腐葉土を 5～10cm の厚さに入れます。このときには化成肥料は与えません(図 2)。

【追肥・土寄せ】

植え付け 1 カ月目から 1 カ月ごとに 3～4 回畝 1m 当たり化成肥料を 50g まいて土寄せし、軟白部の長さ 30cm を目標にします(図 3)。

【収穫】

最後の土寄せ後 1 カ月程度で収穫できます(図 4)。